



みやこ

卒園おめでとう☆ 元気な1年生になってね♪



節丸保育所卒園式(平成26年3月29日)

旧豊津町からみやこ町にかけて、長年にわたり園児を見守ってきた節丸保育所が、平成25年度をもって閉所となりました。節丸保育所は昭和43年6月1日、定員60名で開設し、3名のかわいい園児を送り出して、最後の卒園式を終えました。

もくじ

- 「3月定例議会 結果を報告」 2~6P
- 「議会の活動報告」 7~9P
- 10名の議員が町政を問う!
- 「一般質問」 10~19P
- 町内の頑張っている団体を紹介!
- 「がんばっちょる」 20P

平成26年第2回みやこ町議会定例会が2月25日から3月14日までの18日間にわたり開かれました。町長から30件の議案、また、議会から2件の意見書(案)が提出されました。

平成26年第2回定例議会議案議決結果及び議員別議案賛否一覧表

議案名	議員名														審議結果	
	橋本 真助	柿野 正喜	中山 茂樹	小田 勝彦	田中 勝馬	飯本 秀夫	中尾 昌廣	金房 眞悟	大東 英壽	柿野 義直	熊谷みえ子	原田 和美	中尾 文俊	肥喜里和隆		浦山 公明
みやこ町城井財産区管理委員の選任 (藤河 隆一氏を選任)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	同意
みやこ町税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
みやこ町障害者施策推進協議会条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町保育所条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
みやこ町社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町学習等供用施設条例等の一部を改正する条例の制定	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
みやこ町立小学校及び中学校屋内運動場使用料条例の一部を改正する条例の制定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
みやこ町保健・福祉・コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
みやこ町葬斎場及び霊柩自動車条例及びみやこ町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町隣保館条例の一部を改正する条例の制定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町行政財産使用料条例及びみやこ町伊良原コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
みやこ町活性化センター条例等の一部を改正する条例の制定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
みやこ町総合観光案内所の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
町道路線の変更(燈畑釜之内線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の変更(西ノ原線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度みやこ町一般会計補正予算(第5号)	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	可決
平成25年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
平成25年度みやこ町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町土地取得特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町犀川財産区管理会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町城井財産区管理会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
「要支援者」を介護保険給付の対象者から外さないことを求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東九州自動車道開通に伴う地域産業振興及び経済効果向上に関する意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席

総務常任委員会審査報告

3月7日、付託された条例の一部改正や一般会計補正予算所管分などの議案を審査。

消防団役付団員の任期 4年から2年へ

消防団の再編に伴い、班長以上の役付消防団員の任期を4年から2年へ減ずる。

再編計画の具体案は。

関係駐在員や消防団と協議を進めていく。また現在の一般団員数は466名だが、平成29年4月1日までに374名を指す。

消費税増税に伴う条例改正

平成26年4月1日からの消費税増税に伴い、各種条例を改正し、消費税増税分の使用料等上げる。

(対象となる主な使用料等)

- ・行政財産使用料
- ・伊良原コミュニティセンター使用料
- ・隣保館使用料

今後、消費税の増税に伴う

条例改正案は議会に諮ることなく、使用料等が上がるのか。

議会へ提案する必要がある。

次回は、国が消費税を上げるからではなく、時間をかけて

議会とも事前に議論をするべきだ。

新光富団地法面地すべり防止工事

1,000万円の増額

降水量等を調査し実施設計を行った結果、1,000万円を増額補正し、5,945万円とし、平成26年度に実施する。

中学生13名が

海外ホームステイ事業に参加

平成25年度に中学生を対象としたホームステイ事業は、定員が20名に対して13名の参加にとどまっている。内容の検討が必要では。

見識を広めるとともに、楽しさを体験できるように企画を考えたい。

国作地区宅地分譲地

販売遅れる

造成地内の道路にひび割れが見つかったため、販売を遅らせる。

宅地分譲地の販売は、いつになるのか。

現在、調査を実施している。確実に宅地が大丈夫と確認できればだが、現状では販売時期は明言できない。

計画は良いが、何かと途中で

つまづいている。もっと、職員一丸となって取り組むべきだ。

特にハード面において専門家がいないことが課題だ。



国作地区宅地分譲地

東九州自動車道開通に伴う地域産業振興及び経済効果向上に関する意見書を国へ送付

平成27年3月の東九州自動車道開通が、地域の経済効果向上に大きく寄与できるように、みやこ豊津インターから上毛スヤや豊津インターから上毛スマートインター間は、一旦途中下車しても、再び高速道に乗れば、料金が下車したようにはならない料金システムの導入を、強く求めるものです。

築上町・豊前市・上毛町議会においても同様の趣旨の意見書を国へ送付しています。
(送付先) 国土交通大臣



みやこ豊津インター付近

産業建設常任委員会審査報告

3月5日、付託された条例の一部改正や一般会計補正予算所管分などの議案を審査。

消費税増税に伴う条例改正

平成26年4月1日からの消費税増税に伴い、各種条例を改正し、消費税増税分の使用料等々を上げる。

(対象となる主な使用料等)

- ・諫山地区活性化センター・こだま荘使用料
- ・蛇刈キャンプ場バンガロー等使用料

・総合観光案内所使用料

Q 消費税増税分の使用料を上げない場合、法律違反になるのか。

A 違反ではないと判断する。国からの通達では、上げることが望ましいということ。また、上げない場合地方交付税が減額される懸念もあり、町としては転嫁する方針に及んだ。

Q この条例改正案では、平成27年10月1日に国が消費税を10%にした場合、自動的に消費税増税分、使用料が上がることになるのか。

A 消費税が10%になった場合、使用料は消費税込の総額表示にしなければならないので、議会

で審議される。

みやこ町総合観光案内所の指定管理

みやこ町総合観光案内所の指定管理者を平成26年4月1日から9月30日までの半年間、みやこ町商工会に指定する。その後については、現在設立に向けての準備を進めている観光協会を指定管理者とすることを検討している。

Q 観光協会を設立し、施設建設の計画をしているが、建設については町民の声を聞くべきではないか。

A みやこ町が合併し、町全体として観光がどうあるべきかを考えたまちづくりが必要である。協会の設立は、町民の方も入っている設立準備委員会の意見を聞き、進めている。

Q 観光協会の業務は。

A ものを販売することは考えていない。みやこ町の名所等の情報発信、また、役場ではできないことをやっていただきたい。



豊津地区にある総合観光案内所

豊津地区冠水被害防除工事

8,600万円の減額補正

豪雨による冠水を防除する水路の改修工事で、当初予算額1億830万円から8,600万円を減額する。

Q 当初予算は、どのように査定したのか。

A 水路の一部において、円管が狭く排水が悪いため、パイパスを通すことが最良と判断し、概算で予算計上した。



豊津地区冠水被害防除工事

Q 8,600万円の減額の理由は。

A 詳細設計において、円管の中に入り調査した結果、町道に埋設されている7メートル区間だけが狭くなっていることが判明し、その箇所の円管を広げる工事に変更したため。

Q この工事の概要は。

A 円管の径を900ミリから1,200ミリへ広げる工事が7メートル、矢板を含む仮設工事、溜柵工事等。

文教厚生常任委員会審査報告

3月6日、付託された条例の一部改正や一般会計補正予算所管分などの議案を審査。

節丸保育所閉所

平成26年度の入所希望者が1名、今後とも人数的に増加が見込めないことから、平成26年度から、みやこ町立節丸保育所が閉所される。



閉所される節丸保育所

保護者、地元への説明は。

Q 最終的に申込みが1名であった状況を説明し、ご理解いただいた。

Q 犀川、久保、豊津保育所民営化の検討状況は。

A くらだ、いさやま保育園の民営化を検証し、進めていきたい。

消費税増税に伴う条例改正

平成26年4月1日からの消費税増税に伴い、各種条例を改正し、消費税増税分の使用料等上げる。

(対象となる主な使用料等)

- ・各地区学習等共用施設使用料
- ・各みやこ町公民館・体育施設使用料
- ・サン・グレットみやこ使用料
- ・いこいの里、ゆいの郷、すどりの里使用料

・みやこ町葬祭場使用料(火葬炉は消費税課税対象外)

使用料(A)	1時間当たりの標準料			施設標準額			
	原付5%以内	(A)×消費税率	(A)×消費税率	1時間(C)	2時間(C)	3時間(C)	4時間(C)
48	50	51	50	100	150	200	
77	80	83	80	160	240	330	
96	100	103	100	200	310	410	
143	150	154	150	300	460	610	
191	200	206	200	410	610	820	
239	250	258	250	510	770	1,030	
286	300	308	300	610	920	1,230	
334	350	360	350	720	1,080	1,440	
381	400	411	410	820	1,230	1,640	
429	450	463	460	920	1,380	1,850	
477	500	515	510	1,030	1,540	2,080	
524	550	565	560	1,130	1,690	2,260	
572	600	617	610	1,230	1,850	2,470	
667	700	720	720	1,440	2,160	2,880	
762	800	822	820	1,640	2,460	3,280	
858	900	926	920	1,850	2,770	3,700	
953	1,000	1,029	1,020	2,050	3,080	4,110	
1,428	1,500	1,543	1,540	3,080	4,620	6,170	
1,905	2,000	2,057	2,050	4,110	6,170	8,220	
2,381	2,500	2,571	2,570	5,140	7,710	10,280	
2,858	3,000	3,086	3,080	6,170	9,250	12,340	
3,334	3,500	3,600	3,600	7,200	10,800	14,400	
3,810	4,000	4,114	4,110	8,220	12,340	16,450	
4,286	4,500	4,628	4,620	9,250	13,880	18,510	
4,762	5,000	5,142	5,140	10,280	15,420	20,570	

※1時間当たりの使用料(A)×使用時間(C)×消費税率を乗じて得た額(10円未満の端数四捨五入)

各使用料が改正されました

Q 教育部門に関しては、現状の使用料で行く英断が欲しかった。

伊良原小中学校建設事業

平成27年度までの継続事業へ

安藤忠雄氏の設計による伊良原小中学校建設工事は、平成25年度に入札が3回不調に終わった。平成26年度内に完成が見込めず、平成27年度までの3カ年の事業として、総額8億8,192万5千円の継続事業となった。

安藤氏の設計で行くのか、新しく設計をやり直すのか方針を示すべきだ。

A 地元からも、是非、今の安藤氏の設計で建設して欲しいと要望があった。物価高騰等も考慮しなければならぬが、学校は建てなければならぬので、このような予算組みになった。

安藤氏に対して、設計変更を依頼しているのか。

A 検討している。

「要支援者」を介護保険給付の対象者から外さないことを求める意見書を国へ送付

厚生労働省は、介護保険で「要支援1・2」と認定された高齢者に対するサービスの総費用額に上限を設けて、伸びを抑制する方針を示しています。介護給付の削減計画によっては、必要な介護が受けられない方が続出します。政府に対し「要支援1・2」の認定者を介護保険給付の対象者から外さず、介護保険の充実を図るよう求めるものです。(送付先) 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

平成26年度 一般会計予算 99億950万円

平成26年度当初予算【一般会計及び10特別会計】は、議員全員で構成する予算特別委員会において、2月28日、3月3日、4日の3日間、集中的に審議され、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成26年度一般会計予算は、人件費、扶助費等を中心とした骨格予算として編成し、政策判断を要する経費は、6月の補正予算で計上します。

主な新規事業の内容を要約してお伝えします。

平成26年度新規事業の概要

認定こども園運営事業費補助事業

(担当課：住民課)

- ・幼保連携型認定こども園への移行促進費補助金

予算額：312万円

(内234万円は県補助金)

認定こども園太陽の森保育園（旧くろだ保育園）の幼稚園部門の補助金



認定こども園 太陽の森保育園

認定こども園とは

保育所、幼稚園等における小学校就学前の子どもに対する保育及び教育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う施設

鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業

(担当課：産業課)

- ・鹿、猪駆除の捕獲事業及び侵入防止策等の強化を図る整備事業補助金

予算額：473万円(全額県補助金)

鹿、イノシシの捕獲奨励金として、1頭当たり8,000円の補助金等

交通ネットワーク整備促進事業

(担当課：総合政策課)

- ・東九州自動車道豊津行橋間開通マラソン負担金

予算額：100万円(全額町費)

平成26年末にマラソン大会を予定
負担金は行橋市と同額

- ・国道201号バイパス建設促進期成会補助金

予算額：50万円(全額町費)

総会費、陳情活動等の補助金



建設促進期成会設立総会

障害者福祉計画策定事業

(担当課：介護福祉課)

- ・障害者福祉計画策定に係る事前調査費及び計画策定委託料

予算額：393万1千円(全額町費)

障害者福祉計画を3年毎に見直し、策定する事業

こども子育て支援事業

(担当課：住民課)

- ・こども子育て支援事業計画策定委託料等

予算額：380万円(全額町費)

子育て支援新システムにより、平成27年度から5年間の子育て支援事業計画を策定する事業

議会の活動を報告します!

みやこ町議会では、開かれた議会の一環として、議会活動の内容を広く町民の皆様に理解していただくために、次のとおり議会活動を報告いたします。

平成26年 第1回みやこ町議会 臨時会結果報告

平成26年第1回みやこ町議会臨時会が2月17日開かれました。町長より提出された平成25年度みやこ町一般会計補正予算(第4号)及び若者向け住宅建築主体付帯工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更についての2議案は、いずれも全会一致で可決されました。

若者向け住宅工期延長

5月27日まで

犀川駅裏に建設中である、若者向け住宅の完成が、型枠工等の不足により遅れている。供用開始は、6月予定。



定住促進が期待される若者向け住宅

ダム対策特別委員会 2月12日

伊良原ダムは平成29年度完成に向け着々と工事が進められています。一方、地域活性化の柱として位置付けられている森林公園整備事業や伊良原ピア公園整備事業など重要な事業が残されています。

沖縄県うるま市にある倉敷ダムを視察し、年間30万人以上の方が訪れている公園整備についての研修を行いました。

倉敷ダムには、水辺の動植物が観察できる自然ふれあい広場・子供たちが水遊びを存分にできるヤンバルの森・グランドゴルフを楽しめる多目的広場等がありました。また、施設としてはダム資料館やダム湖面の全景が見渡せる展望タワー等を設けており、水をテーマに自然とふれあながら学習できる魅力あふれるダム公園として整備されています。市街地に近く、稀に見る自然環境の美しさも大きな集客誘因という事でした。

本町のダム周辺公園整備においても、伊良原地域全体の活性化の核となり、また、みやこ町の観光名所のひとつとなるように、執行部、地元住民、議会で知恵を出し合いながら、伊良原ダムならではの地域の特性を生かした公園整備を進めていかなければなりません。



ダム周辺を視察

倉敷ダムの広報誌にみやこ町の視察研修が掲載されました

平成26年2月12日に倉敷ダムを



視察した様子とみやこ町の特産品のPR等が掲載されましたので、お知らせします。

基地対策特別委員会 2月13日

在日米軍再編訓練移転元の嘉手納飛行場を中心とした現状を視察は入れましたが、あいにく基地内には入りませんでした。現在、航空自衛隊築城基地は沖縄の負担軽減から過去4回の訓練受け入れを行っています。沖縄は全国の米軍施設の約74%が所在していることや、沖縄本島の18%、218km²が米軍基地になっていることなど、負担を強いられています。しかし、約9,000人が米軍基地で雇用されるなど、複雑な関係でもあります。

このようなことから、基地がある事の負担を沖縄だけに負わせてよいのか、分散し軽減を図る必要があるのではないかと思えます。また、普天間飛行場については住宅密集地に所在する事から、安全な場所へ移転させる必要があると感じました。



防衛局から説明

産業建設常任委員会視察研修 2月4日

呉市の人口は23万9千人で、天然の良港と呼ばれ、戦艦「大和」を生み、東洋一の造船の町として発展してきた歴史を持ちます。

このような歴史を活かし「フィルムコミッション」という、映画のロケ地の誘致を観光事業者や市が主体となり、積極的に進めています。今回は、みやこ町の大自然もロケ地に出来ないかと考え、視察研修を行いました。

「フィルムコミッション」の活動内容としては「ロケ地のリストアップや情報提供」「道路や公園、施設の使用に係る申請手続き」「ロケ隊滞在の為の宿泊施設等の紹介」「エキストラ、ボランティアスタッフの手配」「撮影の立会」「誘致、広報」など、多岐に渡っていました。主なロケ支援実績としては「平清盛」「男たちの大和」「海猿」などがあり、多い時には年間70件近くのロケや情報提供を行っていました。効果としては、呉市のPRが全国に発信でき、関連施設を各種メディアを通して紹介する等があり、経済効果としては、観光客の増加や関連商品の開発等があり、収益が大きくなったそうです。

また、市民による地域の魅力の再発見や、地域への愛着や誇りの高揚など、市民の意識も若干変わってきているそうです。

本町は自然に恵まれ、文化遺産も数多くありますので、誘致には向いていると考えます。誘致の方法やボランティアスタッフの確保、実行委員会の立ち上げなど、課題は山積みですが、町の特徴を活かしていける町づくりとしては、良い企画ではないかと考えます。



研修会の様子

総務・議会運営委員会合同視察研修 3月27日

議会運営に関する調査研究のため、議会基本条例を制定し先進的な議会改革を進めている長崎県大村市議会を訪問しました。

大村市は人口9万2,000人余り、市議会議員は現在25名です。

大村市議会は、議会の役割と活動の指針を明確にし、市民福祉の向上、市政の発展等を実現するため議会基本条例を制定しています。議員同士、行政側との活発な議論の推進や市民への説明責任などが盛り込まれており、具体的には「市民と議会のつどい」の定期開催や行政側が議員に逆質問できる「反問権」の付与、一般質問をわかりやすくするための「一問一答方式」の導入などを定めています。

「市民と議会のつどい」は、「議会の活動が市民によく理解されていない」、「議会の活動を市民に知っていただく必要がある」として平成20年度から実施されている。議員を4班に分け、年2回市内8カ所で開催し、議会での意思決定に関する説明責任を果たすとともに市民と意見交換を行い、いただいた意見を議会で整理・

研究し、一般質問等で取り上げ、重要案件は執行部へ要望を行っている。課題は特定の方だけが参加し、多くの市民の声が聞けないということでした。今回の研修を参考に、議会改革に取り組み、議会の情報を発信し、町民へ開かれた魅力ある議会を目指していきたい。



議会の在り方について視察

ホームページから会議録の検索が可能になりました!

現在、平成23年第1回定例会から平成25年第1回定例会までの会議録が閲覧いただけます。

詳しくは町のホームページにアクセスして頂き、①議会、②会議録検索の順番にクリックしてください。

発言の内容や、発言者からも検索する事が可能ですので、興味のある方は是非ご覧ください。



9 みやこ町議会だより 第35号

月日	件名
1月7日(火)	平成26年京築広域圏消防本部点検式
1月8日(水)	全員協議会開会
1月9日(木)	広報特別委員会開会
1月10日(金)	みやこ町新年のあいさつ会、築城基地賀詞交歓会
1月11日(土)	みやこ町消防出初式
1月12日(日)	みやこ町成人式
1月14日(火)	福岡県町村議会議長会第5回理事会
1月15日(水)	福岡県市町村退職手当組合議会定例会
1月16日(木)	京都郡議長会視察研修
1月17日(金)	京都郡議長会視察研修、広報特別委員会開会
1月20日(月)	町村議会議員研修会
1月22日(水)	広報特別委員会開会、基地対策特別委員会開会、長崎県時津町議会来町
1月25日(土)	上高屋小学校学習発表会
1月27日(月)	全員協議会開会、豊前広域環境施設組合議会
1月28日(火)	京築広域市町村圏事務組合議会
1月29日(水)	全国市議会議長会基地協議会 京築広域市町村圏事務組合議会
2月2日(日)	公民館まつりin子どもフェスタ、くろだ保育園落成式
2月6日(木)	全国市議会議長会基地協議会第7回総会、武田防衛副大臣に要望行動
2月9日(日)	子ども昔遊び大会
2月10日(月)	京築広域市町村圏事務組合議会
2月17日(月)	行橋京都清掃施設組合議会
2月19日(水)	京築地区水道企業団議会
2月20日(木)	豊前広域環境施設組合議会
2月22日(土)	国道201号バイパス建設促進期成会設立総会
2月23日(日)	第8回三重塔まつり
2月24日(月)	福岡県町村議会議長会定期総会
2月27日(木)	京築広域市町村圏事務組合議会
3月2日(日)	林酒造蔵開き
3月8日(土)	みやこ町総合防災訓練
3月12日(水)	伊良原ダム対策特別委員会開会、基地対策特別委員会開会、伊良原地区弁当作り試食会
3月13日(木)	町立中学校卒業証書授与式
3月14日(金)	町宮今里団地(第1期)完成竣工式
3月18日(火)	町立小学校卒業式
3月20日(木)	社会福祉協議会第2回理事会
3月21日(金)	いさやま保育園大規模改修工事完成記念式典
3月22日(土)	保育所卒園式(久保、豊津、犀川)
3月23日(日)	東九州自動車道苅田北九州空港IC～行橋IC開通式
3月28日(金)	町村議長会理事会、第2回福岡県後期高齢者医療広域連合選挙区連絡協議会
3月29日(土)	保育所卒園式(節丸)

※3月定例議会等の本誌に掲載されているものは除いています。



林酒造蔵開き



みやこ町総合防災訓練



いさやま保育園大規模改修工事完成記念式典



浦山公明副議長(65歳)が、町議会議員として15年以上以上在職し功労があつた者として、全国町村議長会及び福岡県町村議会議長会より、平成26年2月24日に表彰を受けました。おめでとうございます。

**浦山公明副議長が
表彰されました!**

Q

全ての町民に、いきわたる行政サービスを求める

A

今後は駐在員会議の中で指導をしていく



飯本 秀夫
議員

Q 町が発行する公文書類あるいは、町が関わる外郭団体の発行書類が、みやこ町住民の住居に届かないという事実は、あつてはならない事と考えている。配布数で調べてみると、通年的に配布を受けていない世帯数が約900世帯あり、その中には不在世帯もあるでしょうし、1軒の家で複数の世帯が生活している、いわゆる分離世帯等を勘案しても、配布物が届いていない軒数並びに戸数は少なくとも200戸程度あり、町民の3%強の人が、町の必要かつ重要な情報を得ることが出来ない状況である。

諸状況の中で区に属さない世帯もあるが、全戸配布が町の責務と考える中で善処を求める。

A 現在は本庁、支所、町の出先機関並びに、町内郵便局にもお願いし、全ての配布物を誰でも持ち帰れるように配慮しているが、指摘のように、年齢的、身体的等の理由で、区に属さない世帯も考えられるので、今後は駐在員会議の中で全戸配布のお願いなり、指導をしていく。



公共施設に置かれている公文書類

Q 防災無線は非常時の際に地域の情報を的確に伝え、住

民を安全に導く重要な施策と考えるが、町内の設置状況とその対策を尋ねる。

A 特に、若い世帯で設置拒否や正常な設置がなされていない世帯が存在する事は承知しているので、地域防災組織あるいは駐在員等を通じ指導する。



防災無線の設置促進を

野菜が搬入されたことも聞き及んでおり、三者の心をついにし、計画的生産が必要と考えるが、いかがか。

A 農業振興連絡協議会の中に学校給食小委員会を設置したので、指摘のように、誰がどこで・どのような方法で栽培した農産物なのかを明確にし、生産者自身にも誇りと自信を持って納入して頂くためにも、今後は学校給食課、栄養士、生産者の代表であるJAと協議を重ねながら、旬のものを取り入れた地産地消の献立を多く提出できるように協議する。また、将来的には単価、数量ともに含んだ契約栽培農家の育成を考えている。

地産地消率の向上を

Q 給食センターの稼働から1年を迎えるが、関係者の細心の注意により、事故なく迎えられたこと、並びに若干地元農産物の使用が増したことに對し、お礼申し上げます。しかし、給食センター・生産者あるいは農業団体と意思の疎通が乏しいためか、基準外の



田中 勝馬
議員

犀川地区住宅建設の 進捗状況は 若者向け住宅が 5月完成の見込み

Q 入居希望予定者数と家族構成について人口増につながるのか。

A 第1回目の募集で14組、町内9組、町外5組、家族構成は夫婦14組で子ども8人。第2回目の募集では2戸の募集に対し6組の申し込みがあり、町内2組、町外4組という状況で人口増加が見込まれる。

Q 行政区、公園集会所等の整備はどのようになるのか。

A 近隣区長との協議の結果、行政区は今里区の中に入る。集会所、公園は今里区の既設の集会所、児童遊園を使用頂く。

Q 住宅条例第2条には、集会所、児童遊園は必要に応じて敷地内に設置し、利便性、

安全を確保して、適切なものを作らないといけないとなっているが。

A 敷地に余裕がなかった事と、緑地帯を設けなければならなかったため、出来なかった。

Q 工事の遅れに対する対応、違約金等はどうなるのか。

A 工事請負契約書及び財務規則において、違約金は発生しない。

Q 契約時には、債務を履行しない場合は、その責めを負う為の工事完了完成補償、履行保証保険を付けているではないか。

A 請負契約の中には違約金というものは、うたわれているが、工期の延長を承認して、その中で精査しているもので、違約金は発生しないという事になる。

町営今里住宅入居時の諸条件について

Q 2DK、3DKの家賃及び駐車料金等の決め方について問う。

A 入居者の収入月額を八階

層に区分した金額になる。一例として一階層の家賃は2DKが1万7千4百円、3DKは2万1千円、駐車は一戸一台となっている。

Q 高所得者に対する家賃、明け渡しを請求できるとなっているが。

A 八階層の中に算定基準がある。収入計算の中で家賃をオーバーする者に対しては、その都度退去の話を速やかにやっている。

Q 高齢者、障がい者向けの安全設備の完備は。

A 安全を第一に考え、オール電化、バリアフリー、手すり等が設置され快適に過ごせる環境整備が整っている。



今里町営住宅の入居条件は？

第4種豊津陸上競技場の運営について

Q 年間光熱水費の削減対策としてLED、太陽光設置等は考えられないか。

A 出来る部分があれば変えていきたいと思うが、検討する。

Q 京築「苅田、行橋、築上、豊前」に負担金のお願いは出来ないのか。

A (教育長) 体育協会など、関係団体と話し合いの場を持ち、近隣市町村への負担金の依頼の可能性について検討する。

Q 観客席屋上に屋根を設置してはどうか。

A (教育長) 屋根の設置が構造上可能かどうか検討する。



豊津陸上競技場の整備を！

Q

伊良原ダム周辺整備事業 計画について

A

伊良原地域を九州の軽井沢と
呼ばれるような名所にしたい



中山 茂樹
議員

Q 伊良原地域のダム建設計画が持ち上がったから、50数年が経過した。これまでの経緯を尋ねる。またダム周辺整備事業はどのような計画があるのか。

A 昭和36年度に福岡県の予備調査が着手された。平成7年1月、県と地元5団体との基本協定が締結された。平成8年3月、水源地域対策特別措置法2条に基づくダムに指定。平成21年3月、県、田川及び京築水道企業団のダム工事基本協定で、完成工期が29年度に変更されダム事業費も678億円に変更された。ダム周辺整備事業は、県が行う事業と町が行う事業があ

る。県は湖畔の景観に配慮した桜、モミジ、等の植樹計画を進めている。みやこ町が実施する事業計画額の大きなダム周辺整備事業は、森林公園計画、伊良トピア公園計画がある。特に森林公園を中心とした広葉樹の森に多くの子供達が集い、遊び、笑い声がこだまし、森林セラピーが出来る自然体験型の環境教育の場としての公園作りを目指したい。伊良原地域には山村留学の人も増えると考え、情報発信の基地として、九州はもとより日本全国から観光客が訪れ、九州の軽井沢と呼ばれるような名所にしたい。



ダム周辺の整備はどうなるのか？

Q 伊良原小中学校建設について今議会に建設要望書が出ているが、一番心配される建設費の見込みは。

A 地元の皆様に報告したら、森林公園、伊良トピア公園構想もあるが、その予算を削ってでも建設して欲しいというのが地元の皆様の声だった。なかなか厳しい状況ではあるが、みやこ町・伊良原地域の核となるようにしたい。

ダムと観光

Q ダム直下の修験者の山として有名な蔵持山の宿坊跡や片足鳥居を観光スポットとして整備したらどうか。

A 県ダム事務所と相談しながら進めたい。特に蔵持山は宗教との問題があり慎重に考えたい。また宿坊等の跡もあり教育委員会とも検討したい。

林業政策

Q 林業は、全国的に外材や化石燃料の輸入により、衰退し農業以上に林業の将来は危惧されている。問題解決のため

めに町、森林組合、知識人等とプロジェクトチームを作り先進地を参考にし、みやこ町として町有林や財産区の木材を有効活用する考えは有るか。

A 山に人が手を入れ、整備することににより動物の生活圏の場が確保され、有害鳥獣の被害を食い止められ、人と動物の共存が可能になるが、どのように考えているか。

A 先進地（岡山県真庭市）の例も参考にし、町の森林の特性を踏まえ地域一体となった取り組みを検討したい。



町有林等の有効活用を



中尾 文 俊
議 員

伊良原小中学校の建設について問う

A 開校に向けて努力する

Q 伊良原小中学校の建設は、過去三度の入札が不調に終わった。先般は資材や人件費の高騰で、1億5千万円不足との理由で辞退となった。今後の建設の見通しはいかがか。また、5千3百万円設計委託料計上の真意を尋ねる。

A 伊良原では地域の再生に努力する取り組みとして、周辺整備事業と伊良トピア構想の中心に安藤氏設計の小中学校を位置づけ、既に行動を起こしている。しかし、12月議会で予算の修正動議が出されたこともあり、町財政からの持ち出しは無理である。このような状況で、どう対応するのかを伺う。



伊良原小中学校建設の見通しは

A 入札不調の原因は、全国的に技術や型枠工等の人手不足、資材費の急激な高騰と考える。今後は状況把握に努め、伊良原活性化の起爆剤として要望書が出た。27年度以内に旧校舎を解体など、今後の計画を検討し、開校に向けて努力する。

地元は既に伊良トピア、森林公園構想を進めている。町財政を使わずに出来るか、県などと協議したい。

デマンドタクシーについて問う

Q 合併して8年、少子高齢化が進んでいる。交通弱者の高齢者の買い物や、病院通院を支援するデマンドタクシー（あいのりタクシー）が諫山地区で10月からスタートしたが、利用状況は悪い。今年度勝山2か所で実施するのは、どの地域か。犀川地域は高齢化と合わせ、谷が深く、買い物にも不便をきたしていることは、どう考えるか。

A 諫山地区の利用は、10月から2月では65便で70名。このシステムは町内の移動に限るが、商店、病院、公共施設を目的としており、徒歩や自転車の交通手段を持たない高齢者の生活維持が可能になる。犀川地区は今後の課題として考える。

（総合政策課長）諫山の利用は、買い物48名、病院13名、行橋など乗継に7名、他が2名。勝山の2か所は久保、黒田であり計画時点では西犀川

と東犀川を27年度、27年度はそれ意外を計画していたが、勝山エリアにした。

Q 26年度に犀川で実施する計画の変更は問題だ。犀川地域に拡大すべきである。

A 議員の意見をしっかりと受け止め、皆さんが使えるようにしていきたいと考える。



デマンドタクシーを犀川地区で早期開始を！

Q

タケノコ生産農家減少で竹林が荒廃

A

国の補助事業に取り組む



柿野正喜 議員

Q 竹林の保全、集落の活性化にタケノコの加工技術の導入、加工施設の設置、誘導はできないか。

A 竹林の維持、管理については25年度に国の新規事業である森林、山村の多面的機能発揮対策に、犀川崎山と勝山矢山地区が竹林の整備に積極的に取り組んでいる。施設の設置については国のハード事業があり、どのように農地や森林を守っていくか検討し、集落の皆さんで考える地域づくりを目指していきたい。

Q 答弁を聞くと、なぜか集落の努力が足りないと言われているが、みやこ町の竹林面積は364ヘクタールと県内有数

である。しかし加工体制が確立されていないが、なぜなのか。
A 私は地域の皆さんにタケノコの里山制や山林の貸付制度等を提案したが、そういう状況にならなかった。



荒廃した竹林

特別職の給料と議員報酬は妥当か

Q 特別職の給料、議員の報酬は町民の理解が必要と思うが、京築地域での水準及び改定（引き下げを含む）の予定はあるのか。

A 町長、副町長、教育長並びに議長の報酬額は5団体中2番目、議員の報酬は3番目となっております、改定（引き下

京築地域特別職、議員等給料、報酬額

	みやこ町	荊田町	築上町	吉富町	上毛町
人口1月31日付	21,209人	36,151人	19,898人	7,011人	7,968人
町長	786,000	829,000	746,000	621,000	751,000
副町長	620,000	663,000	597,000	527,000	600,000
教育長	572,000	605,000	520,000	502,000	518,000
議長	328,000	415,000	321,000	282,000	273,000
副議長	273,000	375,000	276,000	235,000	227,000
議員	246,000	344,000	261,000	224,000	217,000

単位：円

	算式	退職金額
みやこ町長	786,000 * 100分の510 * 4年	16,034,400
副町長	620,000 * 100分の300 * 4年	7,440,000
教育長	572,000 * 100分の252 * 4年	5,765,760

A 先人たちが築いてきたものであり、私は謙虚に受け止めながら仕事をしていけば良いと思っています。

Q 町長職一期四年間で退職金1,600万円について、どう思うか。

（げを含む）については、近隣市町村の状況、社会経済状況等を勘案し、必要に応じて行う。

A（教育長）現在3年生が2名、4年生が1名で、ここ1、2年地元からの入学予定は無い。

Q 現在、小学児童数は3名であるが、予定されている27年度学校完成時の児童数はどうなるか。

に努力する。

A 技術工、型枠工等の人手不足と人件費、資材費の高騰による設計金額と実勢価格の乖離（かひり）によるものと考えられる。今後については伊良原地域の方より安藤忠雄先生設計による早期建設に強い要望書が提示され、更に補償金の関係もあり、早期に完成が出来るように努力する。

Q 3度の入札が不調に終わったが、その原因と今後の設計画を伺う。

進捗するのか 伊良原小中学校建設



熊谷みえ子
議員

制度上もない小中一貫教育をなぜ進めるのか

A 国において制度化に向けた検討を行っている

継続的、計画的な学習指導と生徒指導や、小中学校の教員の相互協力や一体化を図る中で、学力向上やいじめ、不登校のない教育環境を目指すことを主な目的として、全国的に取り組みられているもの。

国において制度化に向けた検討を行っている。

Q 小中一貫教育校の候補地・期間は

素案は、小・中学校を勝山、犀川、豊津と各1校にする。

場所の選定評価は、勝山地区は、黒田小学校・勝山中学校・勝山運動公園。

豊津地区は、豊津中学校・豊津支所。

犀川地区は、犀川小学校・犀川中学校、町有地はなし。

平成32年度までが合併特例債の使用可能期間である。また実施年度までも書かれているが。

A (教育長) 素案は教育委員会が定めたわけではない。学校再編整備計画策定委員

で検討いただき、素案をつくり、地区部会(44名)で検討をしていく。町長部局と、検討をしてみたい。

Q 答申が出て、決定するのは誰か。

A (教育長) 今の段階では、答申を中間答申という形で6月から7月に何とか出しても

らえないかとお願いをしている。中間答申をも

とに町民の皆様にお知らせ、説明会等も開きながら、最終答申8月を目

標に考えている。答申を受けてから教育委員会として

決定し、町長との相談で、みやこ町の再編整備計画として提案をさせて

いただきたい。9月議会に提案できたら一番理想的と

考えている。小学校が例えばなくなるというの

は大変な問題であることは認識した上で、そこをどう調整し、新しい方向を見つけていくかということで検討している。

Q みやこ町は耐震診断、耐震構造化をしている。子どもたちが喜んで学校に行けるような施設整備をすることこそ必要である。

は、子どもたちが喜んで学校に行けるような施設整備をすることこそ必要である。

Q 中央教育審議会報告によると小中連携の課題は、指導計画の作成、教材の開発、時間割の編成が困難とされている。小中連携では、小中の教職員間での打合わせ時間の確保が困難である。転入生への学習指導、生徒指導上の対応が困難など。

A (教育長) 小中一貫教育は、9年間の一貫教育により、教員の所有免許の関係から兼務発令を拡大できないなどの問題点、小中学校間の連携をコーディネートする教員が必要。などと指摘をされている。



耐震構造化がされている校舎

Q

伊良原ダム建設に伴う 蔵持神社の鳥居移転について

A

宗教上問題があり、
行政が手を出せない



中尾昌廣
議員

Q ダム建設に伴い参道中腹に道路が出来ることから移転を余儀なくされ、現在蔵持区
の空き地に放置されており、
前区長が事故により死去し、
そのままになっている。関係
者もおらず、忘れ去られる恐
れがあり、早急に県ダム事務
所と協議を持っていただきた
い。

A 一度補償金をもらって
いる。宗教上問題があり、行政
が手を出せない。有志が篤志
家が集まって浄財を集めてつ
くるしかないのかなと考えて
いる。

Q 伊良原小中一貫校につ
いて、平成29年度完成に向けて
ダム建設がされており、水没

地域の住宅、神社仏閣や公共
施設等すばらしい建物が出来
上がり、順調に進んでいると
確認している。

平成27年4月完成予定の学
校建設が遅れている。入札に
3度も失敗、受け手がないな
ど前代未聞である。10名足ら
ずの校舎建設に入札不成立と
なるようなこと自体初めから
履き違えている。本来、公共
工事入札に町長自身が独自で
設計者に頼んだ事がまず、大
きな問題ではないか。区長よ
り要望書が出ているが、いま
で通りか、見直しか早急な決
断をして頂きたい。



伊良原中学校

A 現在実勢価格等の把握、
安藤設計事務所へ依頼し、今
後の計画について検討し完成
に向け努力したい。

Q 来年間に合わない子が6
人、残る子が4年生が1人、
3年生が2人、3人が残り中
学校卒業するまで置きます
か。クラブ活動、恋愛、さま
ざまな問題がある。そういう
問題をまったく話していな
い。子供たちが一番大切な
です。

学校応援団

「チーム豊津」について

Q 昨年来から、生徒間の暴
力における訴訟等、豊津中学
校問題の中、支援体制の一環
として「チーム豊津」が出来、
一年が経ちました。この間、
いじめや色々な問題があった
にもかかわらず、正式に「チ
ーム豊津」が全員集まった事
があるのか。

A (教育長) 学校行事、合
唱コンクール、文化祭、授業
参観に参加を頂き生徒の活動
や教職員、保護者の様子を見

てお褒めの言葉も頂き、教職
員の意欲を高めて頂いてい
る。



草刈りボランティアの様子



橋本 真助
議員

Q 今後、みやこ町の定住促進に力を入れていくのか
A 人口が増えるよう努力する

Q 今後の定住促進に力を入れて頂きたい。
勝山地域において交通の便が非常に不便である。公共機関がないので、通学や通勤する人達のためにもこの地域において交通手段の計画を考えた頂きたい。

A 少しづつでも人口が増えるように町の良さをPRして努力していく。

Q 休日保育の実施について

A あらゆる状況に対応できるように、休日保育ができるのであれば実施して頂きたい。

Q みやこ町で10園会議というみやこ町保育協会を発足し、子育て支援に向けて協議等意見交換をしている。休日保育についての協議をしていきたい。



勝山児童クラブ

Q 放課後児童クラブの豊津地区開設について

A 受け入れ先等についてどのような募集などをやっているのか。設置できる可能性について伺う。

A 現在、2法人に声かけをしているが今後は町長部局だけではなく、教育関係の施設等も含め検討していく。時間をかけないように設置の方向で努力する。

Q 各行事の見直しについて

A 町イベント行事においては見直しされたのか。

A 各実行委員会における議論の充実を図ることで、行政主体から住民参加型へ順次見直しを行っている。

直しを行っている。
グラウンド及び

Q 体育施設について

A スポーツ団体において減免などの措置はとられたのか伺う。

A (教育長) 御提案の主旨を踏まえ、みやこ町体育協会が認定した少年スポーツ団体を100%減免するなどし運用している。



スポーツ施設の減免措置は？

Q 施設の関係者や使用者から修理が必要であると報告を受けた場合早急に対応すること。

A (教育長) 密に連絡を取り合い、速やかに修理をした。

伊良原小中学校建設及び運営方法について

Q どう児童を増やすのか、また児童生徒がゼロになることを想定しているのか。

A (教育長) 児童生徒がゼロにならないよう協力を頂きながら努力する。

Q 万が一、児童生徒がゼロになった場合どうするのか。

A (教育長) 現実的には休校する。

Q 伊良原地域から区域外の小中学校を望む児童生徒ができた場合どのような対応をとるのか。望む人がいた場合、今まで通りの方針を貫いて頂くことをお願いする。

A (教育長) 保護者の願いに沿っていくのが基本的な考えなので止めることはできない。今まででどう対応する。

Q みやこ町合併後について

A 現在の予算組でいくと何年まで赤字にならないで継続していけるのか。

A 平成30年以降は削減しないと成り立たない。

Q 若者世代の支援策を

A 企業誘致で雇用の場をつくり、住宅環境を改善する



柿野義直 議員

Q 若者が置かれている現状は。

A 定年の延長による新規雇用の抑制や、若者の労働意欲の低下などにより若者の失業率が高い。アベノミクスによる景気の上昇は地方には波及してなく、雇用の改善にはつながっていない。みやこ町では職場が限られていることや進学で町を離れる若者が多い。アパートなどの賃貸住宅も少なく新築するための宅地も少ない。

Q 支援策は。

A 町営住宅の建設や、宅地の造成、家屋の取得への助成金、結婚や出産への祝い金などの事業を取り組んでいる。



セントラルグラスモジュール(株)を誘致

企業誘致はこの4年間で2件にとどまる。大企業の誘致だけでなく、広く分野に誘致を呼びかける。町内での就業が43%程度であることから、町内での就職の場を確保することが重要だ。

業では780人(8.4%)となっている。町内で4,028人(43.4%)、町外で5,244人(56.6%)が働いている。年齢的には20~25歳では70%、25~54歳では80%、55~59歳では70%と若年層で少し下がっている。雇われている方は7,325人で、正規労働者は5,156人(70.4%)、派遣やパート、アルバイトなどの非正規労働者は2,169人(29.6%)となっている。北九州市や苅田町の工業地帯に近く、簡単に収入を得ることが可能な地域特性があり、基幹産業である農業の兼業化が進んでいる。農業で生活できるように取り組む。

Q 町民はどのように収入を得て暮らしを立てているのか。

A 人口21,572人に対し就業者は9,272人。高い順に製造業2,273人、医療福祉系1,241人、小売業関係1,111人とつづき、基幹産業といわれる農

Q 町民はどのように収入を得て暮らしを立てているのか。

A 人口21,572人に対し就業者は9,272人。高い順に製造業2,273人、医療福祉系1,241人、小売業関係1,111人とつづき、基幹産業といわれる農

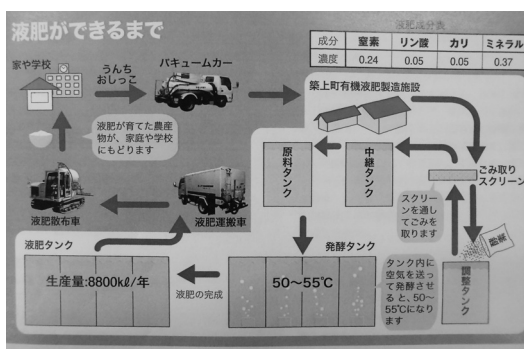
Q 尿処理の方針は

A 26年1月に環境組合臨時

会が開かれ、豊前市長の後藤組合長から液肥化による処理を行いたいとの表明があった。将来を見据えて担当課長などと築上町や大木町を視察に行った。みやこ町はお願いする立場なので軽々に言うことができない。この問題は非常にむずかしい問題である。

Q 液肥化でいくかどうかの最終判断が本年6月に迫っている。どう対応するのか。

A 承知している。だが後藤組合長の思いと環境施設組合の思いが一つならないと進むことができないと組合長にはずつと申し上げている。



液肥化の例



原田和 美
議 員

Q 用悪水路工事請負費の大幅な計画について、工事の概要説明を伺う。

A 用悪水路費の減額した内容について、1億830万円の予算を計上していた。当初は、浸水被害が出ている水路に、もう一本パイパス管を作り、水位を下げて被害を解消しようとする内容だった。しかし調査した結果、地下に埋

設コンクリート管の一部が小さくなっていった。

Q 地元区長の要望書が出ているのか。また、工事単価が高すぎるがメートルあたりの単価はいくらなのか。次に用悪水路に蓋をかけた業者より使用料を取っているのか。工期内に終わるのか。

A 豊津地区冠水工事延長は7.7メートルで全体的にメ

用悪水路工事の内容について問う

工事内容を変更、縮小した



用悪水路工事現場の様子

ートル当たりの試算はしていない。蓋かけの占有料は2万3,000円で蓋かけした本人に貰っている。

Q 行政は自分の質問に明確な回答を出していないので、今後は明確な答弁を求める。

財政状況について

Q 平成22年度予算編成より、毎年約10億数千円が増額されている。平成25年度までの基金と借入金を尋ねる。

A 平成25年度末の基金総額は約121億8,100万円

を見込んでいる。

借入金は104億9,800万円程度であり、貯金が借入金を上回っている。

Q 合併特例債について、借りるのは良いが、いざれ返していかないといけないが、財源

の把握については十分な認識をしているのか。

A 数年後には大変厳しい財政運営が予想される。歳入歳出全体のバランスを十分考慮しながら、今後も基金積み立てに努める。

町づくりについて

Q 町長の目指す日本一元気なみやこ町づくりは4年間で何%実行できたのか。

A 産業の振興、文化の伝承、教育教養等を公約に掲げ、町づくりを進めてきた。全てが達成できたとは思っていないが、一定の成果は得られたと考えている。

山下洋輔カルテット + 八代亜紀
みやこ町 たびのスペシャルライブ

Special Guest 八代 亜紀

Miyako Music Bizet 2014

2014 2/9日

17:00 18:00

会場：みやこ町 岸川体育館

よりよい町づくりを

がんばっちよる

錦ヶ丘下区老人クラブ

私たち、生き生きサロンの親しい仲間、男女で健康管理の一環として山登りを計画しました。まず始めに、今話題のNHK大河ドラマ「軍師黒田官兵衛」の馬ヶ岳に登る事にしました。

皆さまもご承知のように、京都平野には山城の跡が多くあり、馬ヶ岳もその一つです。
豊田秀吉から6郡を与えられた



馬ヶ岳



頂上からの風景

方の手料理を、お互い頂きながらの談笑のひとは格別なものでした。

次はこの山を目指そうかと計画し、御所ヶ岳にも登りました。やはり、体を動かすことはいいことで「一人ではなかなか思いかかれませんが、皆で登れば楽しいね。」と最年長86歳の方から嬉しい感想を頂きました。

今回は障子ヶ岳か、龍ヶ鼻か：楽しんでます。皆さんも一緒に楽しんで山登りをしませんか。



錦ヶ丘下区老人クラブ

連絡先 中村 香代子

TEL 33-3292

議会の傍聴において下さい。

※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。

6月定例会の招集日は6月10日となっています。詳細については、ホームページや防災無線等でお知らせします。

本会議中継を本庁及び各支所ロビー設置のテレビでも放映いたしますのでご覧ください。

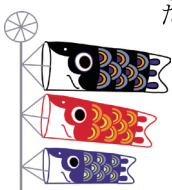
編集後記

桜も散り新緑の季節になりました。

東日本大震災から3年、死者1万5,885人、行方不明者2,623人、(4月10日現在)今なお避難者26万3,958人。(3月13日復興庁調べ) 福島第一原発事故・放射能汚染処理など復旧にむけ解決すべき課題は山積です。避難区域の開花よりも聞く中、帰るに帰れない故郷への想いはいかにかりでしょうか。

3月議会は町長選挙で、早めにはじまりました。今年度予算は骨格予算です。政策的、新規事業などは、6月補正予算で提案予定の為、予算関連は次回に詳しく報告できればとおもいます。

毎回どう伝えればと悩みは尽きませんが、今回は10名が一般質問をおこないました。



(熊谷)

議会広報特別委員会

委員長 熊谷みえ子
副委員長 小野真彦
委員 橋本勝彦
委員 柿野正喜
委員 中野茂樹
委員 上田重光

発行責任者

発行日：平成26年5月1日
発行：みやこ町議会

〒824-0892
福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地
TEL0930-32-2511 (内線301・302)
FAX0930-32-4563

編集：議会広報特別委員会
印刷：(有)京都印刷